

結果のまとめ

【食育への関心】

「食育に関心がある」、「どちらかといえば関心がる」と回答した高校生は、67.0%、大人は、73.1%だった。年代別に見ると、20代は62.9%と最も少なく、次に80代以上で69.3%と少なかった。

また、性別で見ると、男性より女性の方が「関心がある」と回答した人が多く、家族構成別にみると、18歳未満の子どもがいない二人以上の家族の人は「関心がある」と答えた人の割合が7.6%と少なかった。

【共食】

家族と一緒に食べる共食頻度の「朝食」について、「ほとんど毎日」と回答した、小学生は70.5%、中学生は、62.2%、高校生は、41.6%、大人は、47.2%であった。「夕食」については、「ほとんど毎日」と回答した小学生は、83.6%、中学生は、81.1%、高校生は、65.1%、大人は、63.7%であった。

年代別に見ると、「朝食」「夕食」とも20歳代と50歳代は「ほとんど毎日」と回答した割合が少なく、「朝食」では、20歳代、「夕食」では、80歳代が、「ほとんど食べない」と回答した割合が多かった。

また、「食事会等の機会があれば参加したいと思うが、過去1年間で参加した」と回答した人は、49.4%であった。

【朝食摂取】

朝食を欠食している小学生は4.9%、中学生5.0%、高校生は、10.4%、大人は11.8%だった。年代別に見ると、20歳代が35.7%で最も多く、40歳代が20.3%、30歳代が16.7%の順に多く、「ほとんど毎日食べる」と回答した人は年齢が上がるほど多かった。

【食事のバランス】

主食・主菜・副菜をそろえた食事を1日に2回以上「ほぼ毎日」と回答した小学生は、56.8%、中学生は、53.9%、高校生は、51.7%、大人は、44.3%だった。年代別に見ると、30歳代が32.3%と最も少なく、次に、40歳代が

30.4%、20 歳代が 40.0%、50 歳代が 40.1%の順であった。また、家族構成別に見ると、18 歳未満の子供がいる家庭が最も少なかった。

【生活習慣病予防を意識した食生活の実践】

生活習慣病予防を意識した食生活の実践について、「いつも気をつけて実践している」「気を付けて実践している」と回答した高校生は、45.0%、大人は、57.9%であった。年代別に見ると、20 歳代が 37.1%と最も少なく、次に、30 歳代が 44.8%、50 歳代が 48.6%、40 歳代が 52.7%の順で、60 歳代以上に比べると少ない傾向であった。

【適正体重】

肥満傾向の子どもの割合は、小中学生を比較すると、男子は、小学生の方が多いが、女子は、中学生の方が多かった。

BMI25.0 以上の肥満の割合は、大人は、21.2%であった。年代別に見ると、40 歳代が 27.9%と最も多く、次に、70 歳代が 24.2%、50 歳代が、21.4%、30 歳代が 21.3%であった。

やせ傾向の子どもは、男女とも中学生の方が多かった。

BMI18.5 未満の大人は、10.4%であった。年代別に見ると、20 歳代が 15.9%と最も多く、次に、40 歳代が、13.6%、60 歳代が 10.6%であった。

また、60 歳代以上で BMI が 20.0 以下の高齢者は、23.0%であった。

さらに、BMI18.5 未満の割合が女性は、12.0%、男性は、6.0%と女性の方が多く、女子高校生は 20.8%であった。

【減塩】

減塩のために心がけていることについては、高校生は「特にない」、「調味料を控える」、「外食や中食を控える」の順に回答した人が多く、大人は、「調味料を控える」、「減塩商品を選ぶ」「特にない」の順に多かった。

中食の利用頻度について、「週 4 日以上」と回答したに高校生は、47.9%、大人は、14.7%であった。年代別に見ると、20 歳代以上が 22.8%と最も多く、次に、50 歳代の 21.5%、40 歳代の 17.6%、30 歳代の 14.6%の順に多かった。性別では、男性の方が女性より多かった。

また、外食の利用頻度については、最も少ない「週 1 日以下」と回答した小学生が 63.8%、中学生が 80.2%と小学生の方が、利用頻度が多かった。

【野菜摂取】

「1 日に野菜料理を 3 食とも食べる」小学生は、28.6%、中学生は、19.8%、高校生は、17.6%、大人は、15.4%だった。年代別に見ると、30 歳代が最も少なく 6.3%、次に、40 歳代が 6.8%、20 歳代が 10.0%、50 歳代が 13.6%であった。

【噛むこと】

「ふだんゆっくりよく噛んでいる」、「どちらかと言えばよく噛んでいる」と回答した小学生は、80.8%、中学生は、76.4%、高校生は、60.0%、大人は、48.7%だった。年代別に見ると、80 歳代以上が 65.8%と最も多かった。

【農林漁業体験】

「本人又は家族の中で、農林漁業体験に参加したことがある人」と回答した割合は、高校生は、57.7%、大人は 50.0%だった。年齢別に見ると、30 歳代が 66.7%、40 歳代が 65.5%と他の世代と比較して多かった。

【地産地消】

産地や生産者を意識して農林水産物・食品の選択について、「いつも選んでいる」、「時々選んでいる」と回答した人は、高校生は、35.1%、大人は、64.2%だった。年齢別に見ると、20 歳代が 51.0%、30 歳代が 71.6%と他の世代より少なかった。

【環境への配慮】

環境に配慮した農林水産物・食品の選択について、「いつも選んでいる」、「時々選んでいる」と回答した人は、高校生は、35.4%、大人は、58.8%だった。年齢別に見ると、20 歳代が 28.6%、30 歳代が 37.5%と他の世代より少なかった。

【食品ロス】

食品ロスが問題となっていること知っている高校生は、91.6%、大人は、92.7%と認知度は高かった。

一方で、「食品ロスの削減のために何らかの行動をしている」と回答した高校生は 78.3%、大人は、79.2%であった。

また、ふだんから食事を残さないと回答した小学生は、91.4%、中学生は、90.9%であった。

【食文化の伝承】

食文化を受け継いでいると回答した大人のうち、「地域や次世代に伝えていく」と回答した大人は、34.9%であった。また、受け継いでいると回答した高校生は、53.7%であった。

年代別に見ると、80 歳以上で 71.7%、次に、70 歳代で 66.5%、60 歳代で 64.2%の順に受け継いでいる割合が多いが、継承まで至っている割合は、80 歳以上の 24.9%、次に 40 歳代、50 歳代の 24.3%の順であった。

「郷土料理や伝統料理を月 1 回以上食べている」と回答した高校生は、66.7%、大人は、60.1%であった。年代別に見ると、80 歳代、60 歳代、70 歳代、50 歳代の順に多かった。

また、郷土料理の認知度は、小学生は、62.4%、中学生は、93.3%と小学生の方が低く、「郷土料理を知っていて家でも食べている」と回答した小学生は、27.4%、中学生は 40.8%であった。

【調理実践】

家庭で料理、食事の準備、片付けなどについて、「ほとんど毎日する」、「時々する」と回答した小学生は、94.6%、中学生は、90.9%であった。

高校生は、「ほとんど毎日する」と回答した人は、35.6%、大人は、63.6%であった。年代別に見ると、80 歳代が 50.7%で最も多く、次に 20 歳代が 54.2%で少ない傾向であった。性別では、女性の 85.9%に対して、男性は、33.9%と少なかった。

また、「味噌汁を作ることができる」と回答した小学生は、36.4%、中学生は、57.3%であった。